

受験番号

二〇二六年度

一般編入学試験

京都女子大学 文学部 国文学科

注意

- 一、試験時間は、**九十分**です。
- 二、問題は、全部で三題（**一**～**三**）です。
- 三、解答欄は、**一**～**三**の問題ごとにあります。解答は、それぞれの用紙の**解答欄**に記入しなさい。
- 四、この表紙も含め、問題ごとに**受験番号欄**があります。そのすべてに忘れず受験番号を記入しなさい。

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。解答は、問題□の解答用紙に記入すること。

問一 二重傍線部AとDの現代語訳を書きなさい。

問二 本文中から用言の敬語を抜き出し、終止形で書きなさい。

問三 傍線部①「駿河の国」とは今の何県ですか。漢字で書きなさい。

問四 一首目「唐衣」の和歌の空欄□に入る字を、漢字で書きなさい。

問五 一首目の「妻」と同じ人物を指す語句を、本文中からすべて抜き出しなさい。

問六 一首目と二首目に共通する和歌の技巧を、一つ挙げなさい。枕詞や縁語ではありません。

問七 傍線部②「五月のつごもり」は、どのような季節ですか。例にならって簡単に説明しなさい。

例Ⅱ冬のごく初期。 例Ⅲ冬の寒さがやわらぐ頃

問八 三首目を、現代語訳しなさい。「鹿子まだら」は、鹿の子の背中はんとんの毛のように、白い斑点のある状態を指します。訳では、そのまま「鹿子まだら」とすること。

問九 傍線部③「ここ」とはどこですか。該当する語句を、本文中から一つ抜き出しなさい。

問十 一首目の後の波線部「行き行きて」と、後略した本文の冒頭「なほ行き行きて」について、契沖『勢語臆断』は、『文選』巻二十九・雑詩上の「古詩十九首」の第一首の一句目「行行重行行（行き行きて重ねて行き行く）」を踏まえた表現であると指摘しています。この詩は大変有名です。内容、夫が遠い旅に出て帰らず、一人故郷に残された妻が、早く帰ってきてほしいと願い、そして諦め、夫の身を案じる気持ちを詠んでいます。これに関する以下の問いに答えなさい。

(1) 『文選』という書名の読み方を、平仮名で書きなさい。

(2) 二句目は「与君生別離」です。解答用紙に記した白文に返り点をつけ、その下の()の中に書き下し文(訓読文)を書きなさい。

(3) この詩句を踏まえているとすると、どのような表現効果が生まれますか。説明しなさい。

問十一 『伊勢物語』のジャンルは、物語のうちの何物語ですか。また、主人公の「男」と考えられている人物の姓名は何ですか。それぞれ漢字で書きなさい。

問一

C	A
---	---

D	B
---	---

問二

Blank box for question 2

問三

Blank box for question 3

問四

Blank box for question 4

問五

Blank box for question 5

問六

Blank box for question 6

問七

Blank box for question 7

問八

Blank box for question 8

問九

Blank box for question 9

問十

(3)	(2) 与 君 生 別 離 ((1)
-----	-----------------	-----

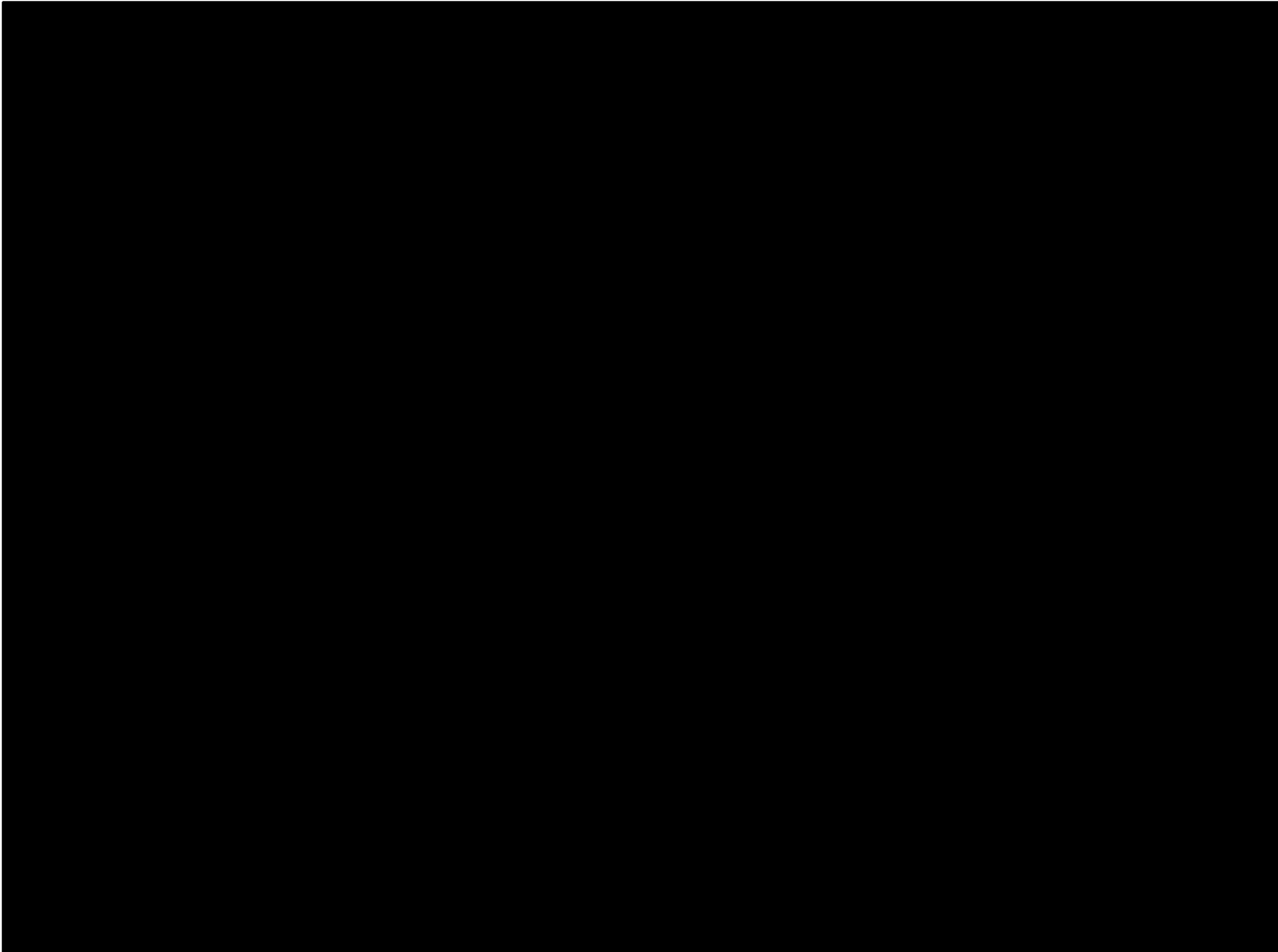
問十一

ジャンル名

主人公の姓名

三

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。



注 Ridicule＝滑稽の極致。

受験番号

三

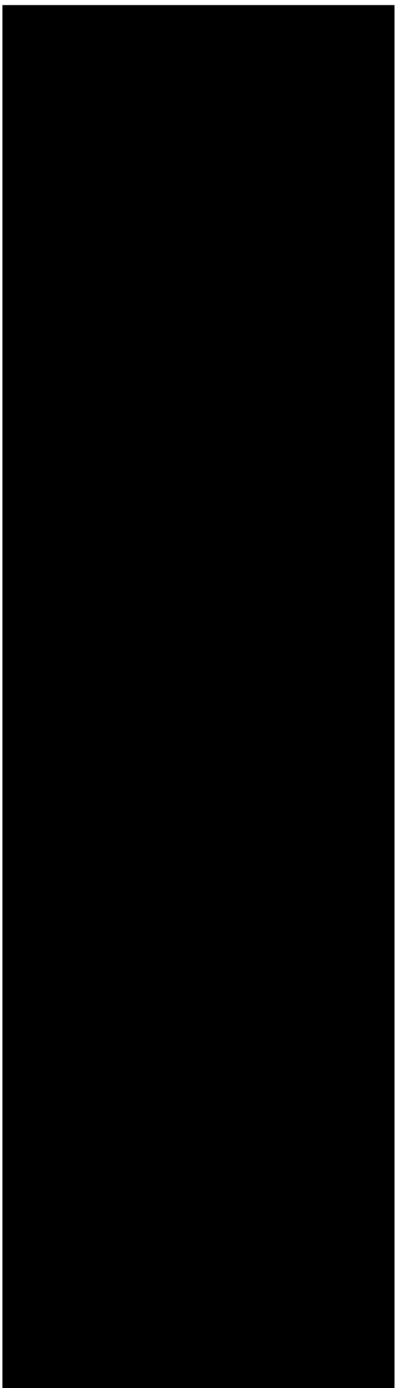
- 一 次の問い①～④の中から一つを選択し、具体例を挙げつつ、わかりやすく説明しなさい。
- ① 江戸時代の日本語を知るためにはどのような資料を調べればよいか。
 - ② 日本語において、漢語はどのように用いられてきたか。
 - ③ 現代日本語の助動詞「た」はどのような意味を持つか。
 - ④ 日本語の音韻体系はどのように変化してきたか。

選んだ問題番号()

二 次の条件に従って以下の短歌を品詞分解しなさい。

- ・品詞名を記すこと。
- ・助動詞には意味も記すこと。
- ・活用語には「終止形」・活用形も記すこと。
- ・助詞は「副助詞」のように助詞の種類とともに記すこと。
- ・用言には活用の種類も記すこと。

例



(会津八一『鹿鳴集』南京新唱)